

平成29年京都舞鶴港の取扱貨物量について

～京都舞鶴港のコンテナ取扱量が過去最高を記録しました！～

平成30年2月23日
 京都府商工労働観光部経済交流課
 電話：075-414-4844
 京都府港湾局港湾企画課
 電話：0773-75-0192

京都府では、京都舞鶴港の平成29年（1～12月）の取扱貨物量について取りまとめたところ、コンテナ取扱量が過去最高の13,402TEU（実入）を記録し、取扱貨物状況についても、全体で1,161万トンとなり、8年連続で1,000万トンを超えましたのでお知らせします。

京都府、舞鶴市及び（一社）京都舞鶴港振興会では、引き続き、積極的なポートセールスを実施するとともに、韓国コンテナ航路の共同配船による利便性の向上等をアピールし、京都市内をはじめとした府南部地域や滋賀県等からの集荷につなげ、取扱量増加を目指します。

1 コンテナ取扱量

区 分	平成29年	平成28年	増減	前年比
コンテナ取扱量	13,402TEU (19,272TEU)	11,493TEU (14,826TEU)	1,909TEU (4,446TEU)	116.6% (130.0%)
コンテナ貨物量	264,651ト	232,189ト	32,462ト	114.0%

(注) TEU…長さ20フィートコンテナを基準(1TEU)とするコンテナの取扱個数の単位
 () は空コンテナを含めた総コンテナ取扱量

【主な増加理由】

韓国コンテナ航路における輸出（紙・パルプ等）、輸入（船舶部品等）の増

2 貨物量及び主要貨物の状況

(単位：千t)

区 分	平成29年	前年比	摘 要
総 数	11,611	107.3%	8年連続1,000万トン超過
外 貿	5,300	112.8%	
石 炭	4,637	111.7%	火力発電所通年運転による増
中古車	103	151.6%	日韓露国際フェリー航路等での取扱増
紙・パルプ	46	123.1%	韓国コンテナ航路における取扱増
内 貿	6,311	103.1%	フェリー以外には重油、原木等
北海道フェリー	5,056	103.1%	内貿貨物全体に占める割合：80% 前年より微増。

